



■田澤 義鋪(たざわ よしはる)

1885(明治18)年7月20日-1944(昭和19)年11月24日。大正期及び昭和初期の社会教育家、政治家、思想家。鹿島市城内出身。東京大学政治学科卒業と同時に、25歳で静岡県阿部郡長に就任。早朝から夜遅くまで働くだけの青年たちの実態を知り、故郷や日本の将来を背負うべき青年の活躍に期待し、全国の青年教育に情熱を注ぎました。その後も田澤は青年教育と政治教育そして選挙粛正に一生を捧げ、とりわけ青年団運動及び青年教育に尽力した活動が知られており、「青年団の父」と称されています。

青年団の父  
田澤義鋪



■ユースカレッジ(青年研修)

田澤記念館では、1年間を単位として鹿島市内企業の若手社員を対象に毎月1回「田澤精神の学習」「職場における社会人としてのあり方」を学習しています。田澤義鋪が行った青年教育は今も脈々と受け継がれています。